

2番市民クラブの久保田隆二です。

通告に従いまして、一般質問をさせていただきます。

急激に変化する社会情勢の中で、地方自治体においても、時代に合った政策立案が求められます。その際に、まずは財政状況を知り、事業分野毎の予算をどの立場においても、マクロ・ミクロな視点から捉えることが求められると考え、本市における財政状況の発信・分析について次のとおり質問いたします。

1. 財政状況の発信についてです。

財政状況というものは、どうしても、分からないと多くの市民の方から敬遠されてしまいます。

理解しなければいけない範囲がとても広く、時間が限られる中で、全ての情報を正確に把握することは難しいことであると考えています。

ですが、財政は難しいので、理解しなくていいのかと言えば、そうではなく、

どのような分野にどれ位の予算がつかれているか？ということは、どの立場においても理解すべき内容と考えており、三沢市の財政状況を自分ごととして捉える方が増えることによって、より質の高い政策づくりの環境を生み出せると考えています。

ですので、限られた時間の中で、抵抗感なく、分かりやすく財政を知って貰う取り組みが求められます。

ここで他自治体の事例を紹介いたします。

伊達市では「予算が1万円だったら」というテーマで、歳出科目の合計が1万円となるよう、抵抗感のない数字で、予算を示しています。

また、岐阜市では「市民1人あたりの予算」というテーマで、歳出予算を市民1人あたりに置き換えて、公表しており、ホームページでグラフを用いて、理解しやすいページを作成しています。

これらのように、市民の皆様が理解しやすい情報を発信することが必要であると考えていますが、三沢市では、財政状況をどのように発信をしているのか？また、どのように工夫をして発信しているのか？ということについて質問いたします。

次に

2. デジタル予算書についてです。

先ほどは、「財政状況の発信」でしたが、こちらの項目では、財政状況の分析について質問いたします。

昨今のICT化のキーワードと言えば「ペーパーレス化」でありまして、紙を使わずに、タブレットやノートパソコンなどで、資料を閲覧することが1つのトレンドです。

今まで会議では紙の資料で打ち合わせしていた訳ですが、タブレットやノートパソコンなどが導入されることによって、資料をPDF化・電子化したものをタブレットやノートパソコン上で閲覧することができます。

それによって、紙の印刷代のコストをカットすることができます。

ここで私が何を主張したいかと言いますと、タブレットやノートパソコンを持ち歩くメリットは、このペーパーレス化だけではなく、システムやアプリを導入して、利便性が向上できるという点もあります。

これから、ICTの時代になると、職員さんも1人1台のタブレットを持つ時代が来るかもしれませんし、既に小中学生はタブレットを持っています。このタブレットやノートパソコンを利用する際、まずはとっかかりとして、紙を使わないというペーパーレス化があり、その次に、やはり、パソコンなので、システムやアプリを動かす/使っていく、システム/アプリ活用が挙げられます。

このシステムやアプリとはどういうイメージなのか？ということですが、例えるなら、三沢市のHPが一番分かりやすいと思います。

Web サイト上で閲覧できる三沢市の HP は市民の皆さんが知りたい情報を瞬時に調べたり・分かりやすく理解できるように、上段にはメニューが並び、中段にはボタンやバナー、げだんにはお知らせなどが並んでおり、それらをクリックすることで、さらに詳細な情報に素早くアクセスすることができます。

ですので、三沢市の HP は1つの「システム・アプリ」と言えまして、市民の皆様がより早く、自分が知りたい情報にアクセスできて、かつ分かりやすく情報を知ることができるようシステム設計されています。

それで、例えば、三沢市の HP（システム・アプリのようなもの）が明日から急になくなって、その代わりに三沢市の行政情報が記載されている、300 ページ位タウンページのような PDF 資料や紙資料を作って配布しますとなった場合、市民の方は、その 300 ページの情報の中から自分に必要な情報を抜き出したり、調べたりする必要がありますので、もの凄く大変になると思います。

その為、三沢市では、市民の方が「使いやすく」なるように行政情報を、ホームページという1つのシステム・アプリにして運用していると言えます。

すべての紙やPDFなどをシステム・アプリにするべきか？と言いますと、そこは費用対効果などをしっかりと検討する必要があります。

本題に入りますが、

予算書を確認する際に、PDF 資料ではなく、デジタルの予算書システム・アプリを導入することで、より「使いやすく」なると考えており、財政状況の分析に役立つと考えています。

現状では、予算書に記載されている各事業の詳細を知りたい時に、三沢市のHPのように、クリックすると詳細がみれるようには当然なっていない訳で、別の資料を確認しなければいけなかったり、役所の方に問い合わせをする必要があります。そうした際に予算書も三沢市のHPのようにシステム化されていれば、様々な詳細情報を瞬時に閲覧することができ、調べる手間が大きく省けると考えています。

実際に、柏崎市では既にデジタル予算書が導入され、議会だけではなく、インターネットを通じて、市民の方も閲覧可能となっています。

三沢市でもデジタル予算書などのシステムを活用することが必要なのではないか、と考えていますが、当市のご見解をお伺いします。

以上で、私の一般質問を終了致します。御答弁、よろしくお願いいたします。